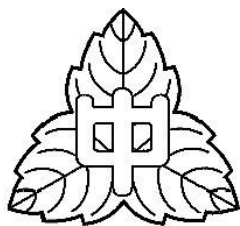


令和5年度 牧中学校だより



学校HP <https://www.maki-jjorne.ed.jp/>

柏葉

第11号

令和6年3月15日発行

上越市立牧中学校

TEL 025-533-5023

FAX 025-533-5063

第77回卒業証書授与式

3月8日（金）、第77回卒業証書授与式が行われました。卒業生は一人一人の呼名のあと、校長から証書を受け取りました。卒業生は証書を受け取った後、自分の言葉で今後の決意を発表しました。在校生や保護者、ご来賓の皆様にしっかりと自分の思いを伝えていました。その後PTA会長の思いが込められた「祝辞」、卒業生への感謝の気持ちを綴った在校生代表からの「送辞」、生徒会長から家族、仲間、地域、学校へ感謝の気持ちが込められた「答辞」、そして卒業生と在校生による卒業記念合唱「沈丁花」を歌い終え、退場の時を迎えました。達成感に満ちあふれた表情の卒業生や目に涙を浮かべる卒業生を盛大な拍手で送り出し、卒業証書授与式は幕を閉じました。

今年度の卒業証書授与式は、PTA会長のご提案で、卒業生の保護者からそれぞれのお子さんに「お祝いのメッセージ」が送られました。卒業生にとって、心温まるサプライズとなったに違いありません。ご協力いただきました、保護者の皆様、ありがとうございました。

本年度の卒業証書授与式も昨年度同様に、感染対策のため、ご来賓の方々の人数を制限いたしました。ご理解とご協力をいただきましたこと、深く感謝申し上げます。また、ご来校いただいたご来賓の皆様、ご多用中のところ参列いただきありがとうございました。



式辞(抜粋)

卒業証書を手にした卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

様々な思いが、頭の中を駆け巡っていることでしょう。とりわけ、最上級生としての令和

校長

5年度の学校生活は、充実感と達成感に満ちあふれた、特別な思い出として残っていることと思います。

生徒一人一人が個性を発揮し、仲間同士の絆を大切に
する、魂のこもったイベントが開催されました。学校生
生活を向上させるための委員会活動、地域のために役立ち
たいと頑張った地域連携行事、後輩としての役割、先輩
としての務めを学び、共に鍛え合った部活動、感謝の涙、悔し涙、感動の涙、その一粒一粒
が成長の糧となりました。よき伝統を継承しつつ、改革を進めた生徒会活動は、生徒会スロ
ーガン「相互扶助」の具現化により、大きな成果をあげました。本年度のスローガンが立派
に達成されたことを、私の心の目で確かに見届けました。



さて、百年程前にさかのぼりますが、1920年インドに近いベンガル地方で、狼に育て
られたとされる二人の少女が発見されました。年齢は上の子が8歳、下の子は1歳と推定さ
れました。彼女たちを洞穴で見つけ、引き取ったのは孤児院を営んでいたシング夫妻です。
上の子はカマラ、下の子はアマラと名付けられました。食べ物は手を使わずに直接口だけで
食べました。日光を嫌い、夜行性であったため日中は暗い場所で眠りました。夕方になると
活発に走り回り、遠吠えする姿はまさに狼そのものです。一年ほど経過した頃に、二人は病
気にかかり、やがて体力のない下の子アマラは死んでしまいます。アマラの死を悟ったカマ
ラは両目から涙を一粒ずつ落としましたが、声を発することなく、部屋の片隅にじっとして
いるだけでした。シング夫妻が残ったカマラを人間の子として育てる必要性を感じた瞬間で
した。カマラもシング夫妻の愛情を本能で感じ取り、本格的な人間修行を受け入れたのです。
しかし、16歳で亡くなるまでに、カマラが身に付けたことは、人間の成長としては3歳程
度のレベルであったとのことです。

**人は、人間の子どもとして生まれてきたとしても、人として育ててもらわなければ、人としての
思考力、判断力、表現力を身に付け、発揮することはできないのです。**家族のかけがえのない存
在として、たくさんの愛情を受けながら、育ててもらった。そして「牧区の子どもは牧区で
育てる」という信念のもと、最強の応援団、地域の皆さんが大事にしてくれた。だからこそ、
皆さんは今、ここにあるのです。育ててくれた家族や地域の皆様への感謝を決して忘れては
なりません。

3年間かけて友情を育んだ、牧中学校の仲間。ぶつかり合ったこともあった。泣いたこと
もあった。でも、この仲間と一緒に本当によかった。離れてどこにいても、いつでもお互い
のことを分かり合える、大切な大切な仲間です。友達というのは、ミスをしたり、非難を浴
びたり、本当に励ましが欲しい、逆境に立った時の友達が本物です。皆さんの人間修行にお
いて、何物にも代え難い、この「一生の宝物」を心の拠り所として、いつまでも大事にし
てください。何事も、まじめに、ひたむきに取り組み、心豊かな人生を歩んでほしい。そして、
人を思いやる「やさしい人」になってください。

結びに、皆さんを育ててくれた故郷牧区、人として大きく成長させてくれた「牧中学校」、
この地でこの学校で学んだことを誇りに、その素晴らしさを世に発信する「牧中の親善大使」
として大きく羽ばたいてくれることを期待し、卒業生の皆さんへの式辞といたします。

令和6年度の教育課程について

◆来年度の教育課程について、現段階の決定事項を紹介します。

(1) 主な行事

体育祭 ⇒ 5月18日(土) ※暑さ対策のため R5年度から5月開催

2年職場体験 ⇒ 7月2日(火)～7月4日(木)

小中合同文化祭・総合的な学習の時間の発表 ⇒ 11月2日(土)

(2) 校時表 ※現在調整中

月曜 ⇒ 完全下校 14:25 SB14:30

木曜 ⇒ 放課後：生徒会・学級優先(30分) SKT(30分)

完全下校 17:00 SB17:09

火・水・金曜 ⇒ 部活動あり 完全下校 17:00 SB17:09

(3) 学習

テスト関連

定期テストから単元テストへの切り替え ※R6年度以降は「単元テスト」のみ

⇒ 生徒一人一人の学習状況を見取る。

(3観点の1つ「主体的に学ぶ態度」の評価、理解度)

⇒ テストまでのスパンが短くなることで、家庭学習につなげやすい。その結果、家庭学習習慣の定着に期待ができる。(牧中学校の重要課題の改善)

家庭学習関連

ア) 家庭学習のデジタル化(長期休業中の課題も含む)

⇒ 単元テストとの連動

イ) ICT及びデジタル教材の活用

⇒ 学び直しの機会・・・一人でも取り組める学習環境を整える。

(4) 部活動

ア) 休養日

・週休日、月曜日、木曜日の4日とする。

⇒平日の2日：従来通りの休養日とします。また、木曜日のSKTについては、学習支援、行事等の打合せ等の多目的な活動への時間として引き続き活用します。

イ) 部活動結団式の廃止、壮行式のスリム化

・スポーツや文化活動への参加が多様化することにより、結団式の在り方について見直しました。

⇒令和5年度からは、応援団を編成していません。

⇒壮行会を行う対象は、部活動及び文化・スポーツ団体等が主催する大会や発表会としました。

心に残る「三送会」

2月16日（金）の5・6限に三送会が行われました。開会に際して生徒会副会長のM・Aさんから挨拶がありました。その後1・2年生によるパフォーマンスが発表されました。パフォーマンスは1・2年生の縦割り班がそれぞれ準備してきた内容を披露しました。旧職員によるビデオレターや思い出のスライドショー、イントロクイズなど、思い出に残る楽しい内容でした。全校生徒、教職員、そして保護者の方々全員が思い出に残る楽しい時間を過ごしました。1・2年生の皆さんのおかげで、3年生の皆さんは中学時代のよき思い出として、心に刻まれたに違いありません。

前半の活動では、優しい笑顔で後輩たちのパフォーマンスを見ている3年生の姿がとても印象的でした。1・2年生のパフォーマンスが終了すると最後に生徒会長のA・Nさんから挨拶があり、3年生への感謝の気持ちを述べました。

後半は、3年生の代表としてN・Rさんからお礼の挨拶がありました。その後、全校生徒参加型のレクリエーションが行われました。3グループに分かれて、和やかな雰囲気の中で楽しい時間を過ごしていたようです。



4月の予定

日	曜	行事等
1	月	年度始休業 ～7日（日） ※4/1～7日 部活動なし
8	月	新任式・始業式8：30 入学式準備 弁当持参 入学式14：00 PTA入会式15：15
9	火	給食開始 全体指導 PTA 役員会 PTA 常任委員会
10	水	サポート検査（1年） 生徒会入会式 全校集会（校長講話）
11	木	NRT 標準学力検査（国数英） 尿検査 1次 生徒会入会式

日	曜	行事等
12	金	NRT 標準学力検査（社理） 総合オリエンテーション
16	火	発育測定 3年生全国学力・学習状況調査 （質問調査）
17	水	全校集会
18	木	3年生全国学力・学習状況調査 （国数）
22	月	フリー参観 ～26日（金）まで
23	火	生徒総会
25	木	授業参観 PTA 総会

